ウイングマン

＠ウイングマン注意事項

引っ張るときは主桁の真下にひく

機体を追い越さない

追いつけないと思ったらすぐひもを離す

引くときは最初は引いてるかなー？くらいで引く

ロープは手に巻き付けない

勝手な判断でロープは基本引っ張らない

翼が降りてきたときにワイセツを持つときはケガしないように

浮いたらロープは離す

＠２年用

１年とペアなので１年が変な挙動をしないか監督する。

一連の流れは必ずペアの人がついて教えてあげる

走行試験の間にしつこいくらい注意点は言う方がベスト？

特にみてほしいポイント

ひもの持ち方

機体を追い越さないか

変な行動をしないか

＋α:引きすぎていないか

機体移動のときワイヤーの手伝いをしてもらう

ワイヤーを持つときは支えるだけ、曲げない

別資料参考

＠ウイングマン一連の流れ（2018　iris）

・ワイヤーの配置はスタートからの人とストップライン付近の人の2グループ

・機体移動時は次のウイングマン（2年生）が機体前から、次のワイヤーマンが機体後ろから保持し回転方向が前になるように保持を交代しながら機体移動をする

・機体移動が終わり全体指揮が「機体周りの設計者オッケーですか？」でオッケーならウイングマン側のワイヤー保持は抜けてウイングマンの配置につく

（機体がストップしたときの状況にもよるが）ワイヤーは配置を代わりウイングマンは次のウイングマン（1，2年）が来るまでロープは持っておく。次の人が来て、ウイングマンウイングマン指揮に所感を言ってから離れる。

休憩後やトラブル対処後は機体移動する可能性があるのでそれらの後にはワイヤーの保持に入る。

＠やってみて

・ウイングマンのGC配置を指揮補佐の方向で完全に統一する

→GCとしての配置のときウイングマンは進行方向の右翼左翼で分けた方がわかりやすい

→結果右翼左翼で分けた

・今年はウイングマン指揮が自転車

→走る位置は左翼側エレベータすぐ後ろくらいロール指揮の声も聞こえやすい（2nd時点）

→以降位置取りはエレベータ後ろで走行した（撮影もあったため）動画参照

機体が浮いたときはロープを離さなきゃいけなかった

→ひじの高さよりロープが上に行ったら持たなくていい

→まともに浮いたの初めてすぎて浮いたらの基準がわからなかったがIrisでは後輪の音が消えたらで統一。

→この基準に関しては代によって変わる可能性あり

・ウイングマンロープの長さを地面につかないように脛ぐらいの高さにしよう

→ロール時に滑走でもロープ届かなくなるから少し垂れるくらいじゃないとダメっぽい

→結果、長さは地面につくくらいだったと記憶、間違ってたらごめん

ウイングマン指揮・主な仕事

・ウイングマン人員確保

・ローテーションや配置

・機体の後ろから追いかけつつメンバーができているかどうか見る

→左右の翼を見つつ、ロープの感じを見る

・メンバーの体調管理

・フライト指揮に所感報告

・反省回収、フィードバック

・他GC指揮と打ち合わせ

Etc…

後は適宜、自分で考えてね